

「マルチドア対応ホームドア（どこでもドア®）」実証実験 京急久里浜線 三浦海岸駅にて10月24日（月）始発より開始します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，三菱重工グループの三菱重工交通機器エンジニアリング株式会社（本社：広島県三原市，社長：坂本一秀，以下 MHI-TES）が開発を進めてきた「マルチドア対応ホームドア（以下，「どこでもドア®」という。）」の実証実験を2016年（平成28年）10月24日（月）始発電車から京急久里浜線三浦海岸駅において約1年間実施いたします。

この「どこでもドア®」は，これまで課題であった，ドア数やドア位置などが異なる車両が運行する路線に対応するホームドアとして開発を進めているもので，車両改修を必要とせず地上設備のみでホームドア開閉の連携が可能な「地上完結型連携システム」を採用しており，営業路線において，実際に稼働させるのは全国で初となります。

今回の実証実験は，MHI-TESが国土交通省鉄道局の鉄道技術開発費補助金の支援を受けて行われるもので，「どこでもドア®」の安全性および耐久性，ならびに「地上完結型連携システム」の安定性について検証を行います。

京急電鉄では，本実証実験に協力するとともに，今後ホームドアの設置を含む，より一層のホーム安全対策を実施してまいります。



三浦海岸駅に設置された「どこでもドア」 10月24日（月）より実験稼働予定